

孔子家系図 2500年つなぐ

200万人

孔子の家系図に
名前が載った子孫の数

「論語」で知られる儒教の祖・孔子。その家系図はなんと2500年以上も続くという。様変わりした現代で、聖人の子孫たちはいま何を思い、どんな生き方をしているのだろうか。

5年前大改訂
4万3千ページに

孔子のふるさと、山東省曲阜市。人口約64万人のうち2割ほど、約13万人が孔姓を名乗る。

孔子をまつる「孔廟」の近くに「孔子家系図研究センター」があった。市の機関だ。主任の孔徳銘さん(37)は孔子から数えて77代目の子孫だ。

「家系図をつくるのは中国の伝統文化。なかでも孔子の家系図は長年途切れることなく続いており、価値が高い」と胸を張る。孔子の家系図は、「世界



子孫はいま、膨大な家系図のデータベース化を進めている。これまでの紙の家系図をもとに、新たに名乗り出た人が子孫だと確認できれば加える。将来的には、子孫がパソコンで自身の名前を検索できるように

で最も長い家系図」としてギネス世界記録に登録されている。時代によって違いはあるが、歴代の皇帝に保護されたことなどが孔家の繁栄につながった。

5年前には、歴史上5回目となる本格的な家系図の改訂版ができた。全80冊、4万3千ページ、収録人数は約200万人に及び、1937年の大改訂の約56万人から大幅に増えた。

家系図をめぐって。子孫の名前のほか、生年、卒業大学、妻と子の名前などが載っている。徳銘さんによると、希望しない人は細かいデータを載せなくてもいいそうだ。

する計画もあるという。大改訂の責任者を務めたのが、北京に住む孔徳瑋さん(87)。孔子の子孫らでつくる国際団体の会長で、本家の77代当主(故人)の近い親類だ。本家の79代目当主、孔垂長さん(39)は現在、台湾に住む。

世界一に認定されたことを聞くと、「当たり前だ」とそっけない。徳銘さんはそれよりも、「今回のものはグローバルな家系図なんです。時代は進んでいるから」と強調した。孔の姓を名乗る女性の名前が初めて加わったほか、米国やシンガポール、韓国などの外国籍、中国の少数民族の孔さんも収録されたのだ。

五輪の覇者や 元韓国外相も

孔子の子孫には、どんな人がいるのだろう。調べてみると、元フランス大使の孔泉さんやシドニー五輪の卓球男子シングルの覇者、孔令輝さんらがいた。中国以外では、韓国の駐日大使や金泳三政権の外相を務めた孔魯明さん(82)も子孫だと聞き、電話で話をうかがった。79代目という。韓国でも中国でも、孔子の子孫の方と会うと親



9月28日、孔子の生誕2565年を祝う式典に参加した人たち(中国山東省・曲阜)

経済発展の今 教え再び脚光

しみを感じる」と語る。

「経済発展の一方で中国人は拝金主義になり、道徳観がなくなりました。必要なのは孔子だ」と言うのは、日本で中国情報紙を編集する孔健さん(56)。

「中国では、社会の激しい変化を経て、安定を求める時代に孔子の思想が求められる。まさに今だ」という解釈を披露してくれた。

中国では文化大革命(1966〜76年)の際、儒教は封建主義の思想として徹底的に攻撃された。時代は移り、今は共産党指導部も孔子の教えを持ち上げる。

曲阜の小学校では、孔子の教えを学ぶ課外授業が行われている。孔子の教えを読み上げる小学生たちの元気な声が、教室いっぱいに響く。教壇に立つのも、子孫の孔為峰さん(44)だ。以

前は知人とともに飲用水の会社を経営したこともあったが、小学校の教師に転じた。今の給料は決して多くはないが、生活には満足している。「お金はいくらあっても欲望を満足させられない」

教室には、孔の姓を名乗る子どもたちもいた。孔瑞雪さん(11)は「汚い言葉は使わず、けんかはしない。ごみを見つけたら拾う。ほかの人を助ける」ことを心がけているという。

孔徳瑋さん(10)も自らの心得を「よく勉強し、両親の情に報いる」のが務めだと語る。「そろそろ反抗期だから、両親は私が言うことを聞かなくなるのを心配してるの。だからこの授業を受けるのに賛成よ」

やはり孔家の歴史がそうさせるのか。まだ、子どもなのに、人生の「模範解答」と言えるような言葉がすらすらと出てきた。

◇

新年から始めたこの企画は、今回で終わります。記者たちの「世界イチ」探しへのお付き合い、ありがとうございました。

世界イチ?

孔子

中国春秋時代の思想家(紀元前551年ごろ〜前479年)。故郷で役人となり司法長官まで昇進したが、50代半ばに政争に敗れたとされ、弟子を従えて十数年間諸国を遍歴し、諸侯に徳の道を説いて回った。晩年は故郷で弟子の教育と書物の整理に専念した。

孔子が説いた仁(人間愛)や礼などを重視した考えを体系化したものが儒教。「論語」は孔子の死後にその言行を弟子らがまとめた書物で、「過(あやま)ちては則(すなわ)勿(なか)れ」「朋(とも)あり、遠方より来(きた)る、またしからずや」などの言葉は有名。「温故知新」など論語に由来する四字熟語もあり、日本文化にも影響を与えた。



自宅で全80冊の家系図を前に語る孔徳瑋さん=北京

記者の
ポイント

上海支局長
金順姫

中国社会のモラルは低下したと言われる。上海に赴任後、病死した動物を食肉として売っていた事件や、過剰に抗生物質を授与した鶏の話など、食品の安全問題を記事にした。日常生活



中国・曲阜で孔子の教えを学ぶ子どもたち

活では、ゴミのポイ捨てや地下鉄で子どもに排泄させる親の話も見聞する。

今回の取材で出会った人はみな聖人とは言わないまでも、「優等生」の子孫たちだった。大人だけでなく子どもまで。孔子の教えを実践することが、こんな社会の現状を改善する処方箋になるのかもしれない。ただ、「異端児」の子孫にも会ってみたいかった。

デジタル版に「取材余話」